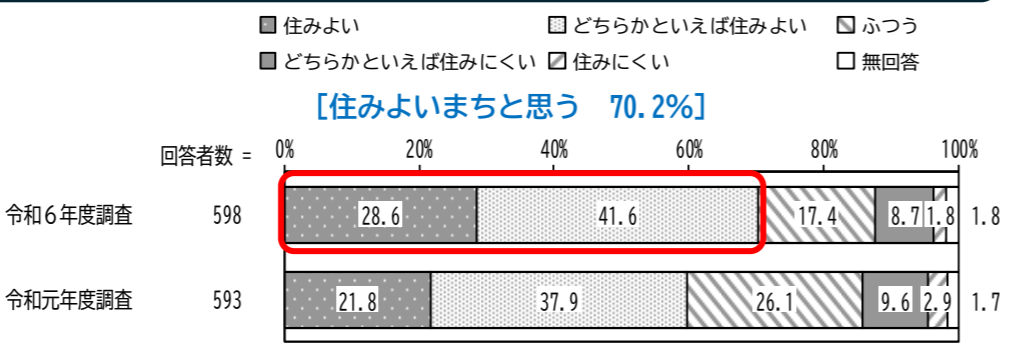


大山崎町第5次総合計画及び大山崎町第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためのアンケート調査結果のまとめ（抜粋）

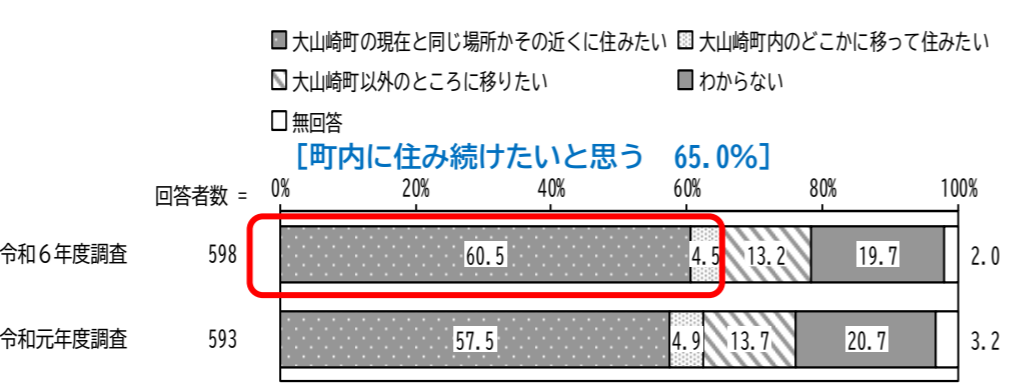
1 一般町民調査結果

大山崎町での暮らしについて、住みやすさの評価は概ね高いものの、一部に住みにくさを感じる人もいます。また、特に若者の定住意欲が低く、18歳から29歳までの若年層で顕著です。住民の暮らしの豊かさについて、物質的な豊かさを重視する意見と心の豊かさを求める意見に分かれています。また、住民が求める大山崎町の将来像は「自然が豊かなまち」「健康でいきいきと暮らせるまち」「交通の利便性の高いまち」が上位に挙がっています。

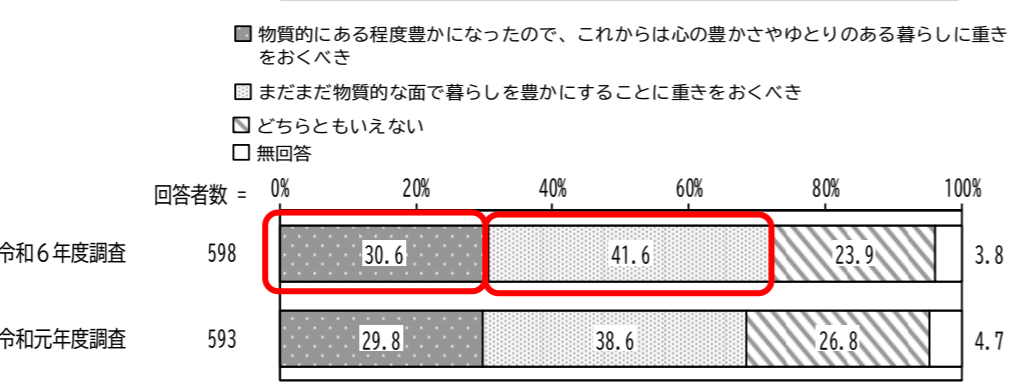
■大山崎町は住みよいまちだと思う町民は約7割。令和元年度調査(59.7%)と比べて増加(問1)



■大山崎町に住み続けたいと思う町民は65.0%
18歳から29歳までの若年層は「大山崎町以外のところに移りたい」の割合(13.2%)が他の年代より高い。(問5)

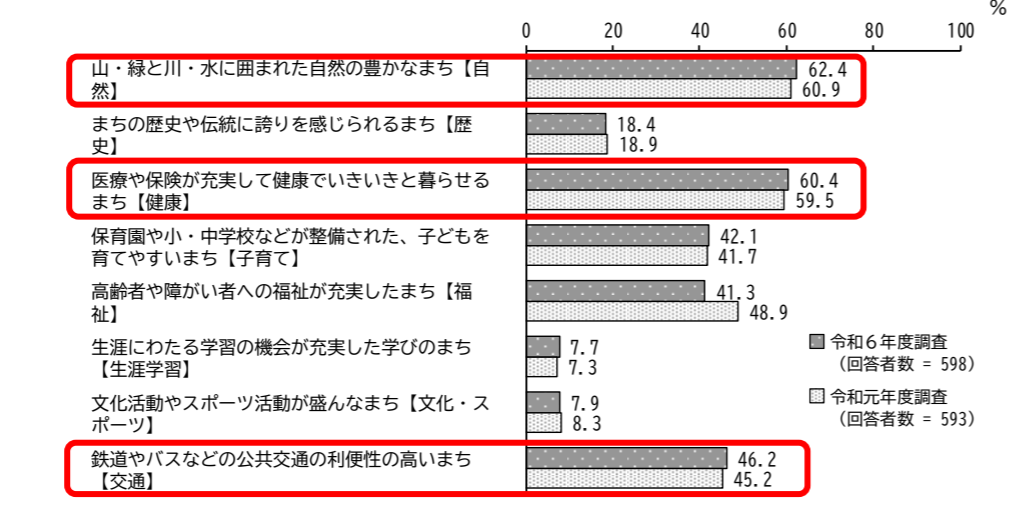


■これからの大山崎町における住民の暮らしの豊かさについて、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある暮らしに重きをおくべき」が30.6%、「まだまだ物質的な面で暮らしを豊かにすることに重きをおくべき」が41.6% (問10)



■約10年後の大山崎町の将来像について(問11)

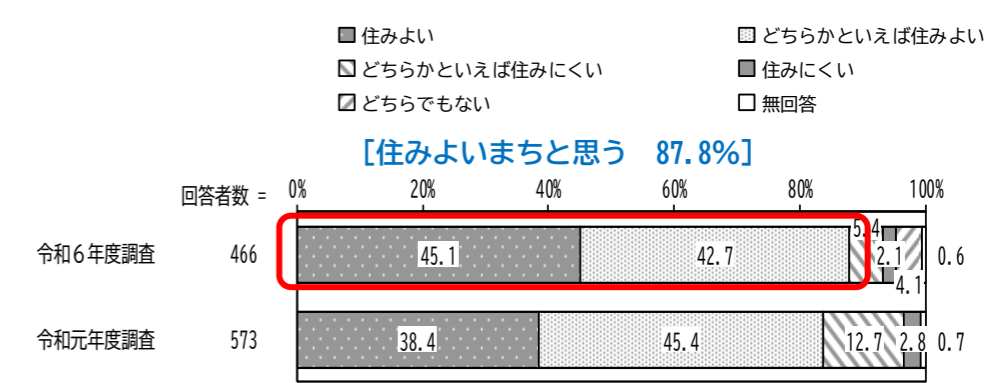
- 上位3位
- ①山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】の割合が62.4%
 - ②「医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】」の割合が60.4%
 - ③「鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】」の割合が46.2%



2 小6・中学生調査結果

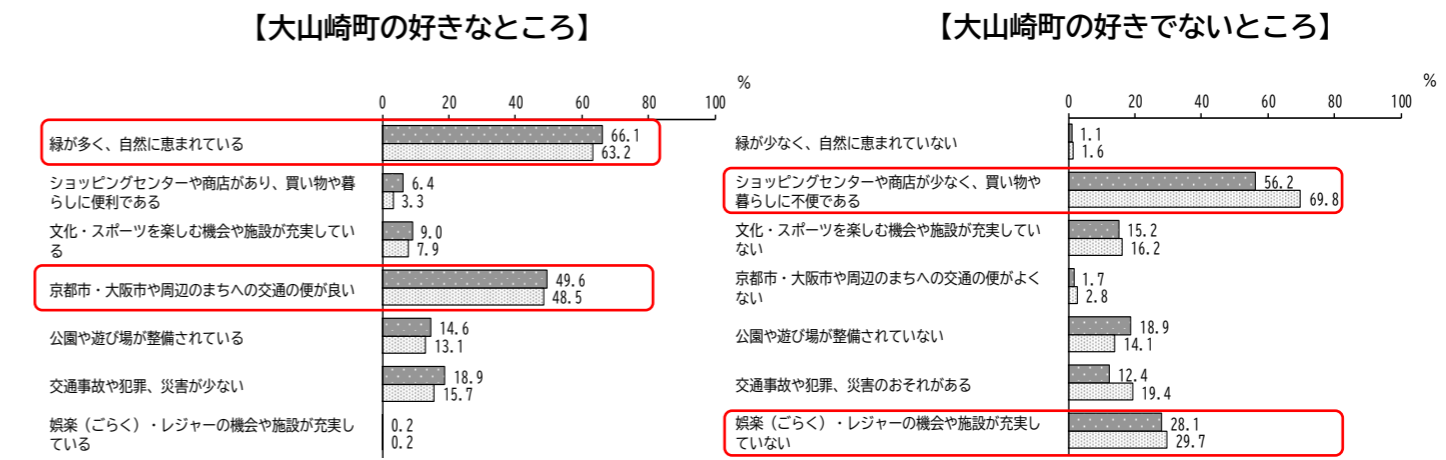
住みよいと感じる割合が87.8%と高いものの、一部の児童生徒は住みにくいと考えています。町の魅力として緑が多く自然に恵まれている点が評価される一方で、ショッピングセンターや商店の少なさによる買い物や暮らしの不便さが挙げられています。

■大山崎町は住みよいまちだと思う児童生徒は87.8%。令和元年度調査(83.8%)と比べて増加(問2)



■大山崎町の好きなところ(上位3位): 「緑が多く、自然に恵まれている」「京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が良い」「交通事故や犯罪、災害が少ない」(問3)

■大山崎町の好きでないところ(上位3位): 「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」「娯楽(ごらく)・レジャーの機会や施設が充実していない」「公園や遊び場が整備されていない」(問4)



3 職員調査結果

これからの時代の行政サービスの在り方について「他の自治体に遅れない程度に対応する」が35.4%と最も高く、次いで「限られた条件の範囲内で対応する」が33.8%、「住民の要望やニーズを先取りして対応する」が20.0%となっています。

